

学んでより良いチームづくりを

介護労働安定センターの資料（2018年）によりますと、訪問介護員・介護職員の離職率は15.4%です。最も離職率が高いのは宿泊業・飲食サービス業の30%ですが、全産業での離職率は14.6%となっています。介護サービス領域の離職率はやや高いといえます。離職する人は入職1年未満が全体の4割を占めており、この資料では「教育や研修等において入職3年未満の職員への対応が必要」とのコメントが載っていました。

私どもは昨年の9月～10月にかけて、入職後半年の職員（20人）と2年目の職員（35人）の研修をオンライン形式で行いました。前回までは一堂に会して、丸一日を通しての研修会でしたが、このコロナ禍で、今回は3時間の研修をそれぞれ2回ずつ行う形をとりました。テーマは「自分を伸ばし、チームのパフォーマンスを高める対話術」。講師のお力もあり、講義やグループディスカッションはオンラインの良さもいかし充実した時間となりました。職員のレポートを読むと、学びの多い研修会だったことがわかります。加えてなかなか会うことのできない同期の仲間と、テレビ画面で話げたことの喜びなども語られていました。

（社福）武蔵野で働くことを選んだ職員の皆さんには、ここで働いてよかった、成長できた、そう思えるよう今後も研修にはさらに力を入れたいと思いました。一人ひとりが問題意識を高めてより良いサービスにつながる取り組みが生まれることを期待しています。

さて、法人では12月から放課後等デイサービス「パレット」をスタートさせました。また、3月からは新しいグループホームを開設します。感染に十分注意しながら、魅力ある職場づくりとサービスの向上を図っていきたいと思います。

令和3年2月 安藤 真洋